**目標設定の考え方について（案）**

資料１－３➀

**事業系**

※食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の４業種で集計

**【基準データ】**

◎2017年度

　➀　2017、2018年度の大阪市「事業系一般廃棄物排出実態調査報告書」等を基に、「１事業所あたりの食品廃棄物等

及び食品ロスの発生量」の原単位を算出

　②　➀の原単位を各市町村の事業所数で拡大推計し、2017年度の事業系ごみ量を考慮して補正を行い、最終的に４業種に合算して2017年度の事業系食品ロス量を算出

　　　　※2018年度も同様の算出方法

◎2008～2016年度

　➀　全国の食品廃棄物等の発生量などから原単位の増減率を算出し、上記で求めた2017年度の府域全体の原単位にか

けることで、2008～2016年度の食品ロス量を算出

**【推計方法】**

◎2000年度

　2008～2018年度のデータを基に、国の算出方法と同様に、近似式（指数関数）で推計

◎2019年度以降

　2008～2009年度は、食品ロスの減少量が大きいため、2010年度以降のデータを基に近似式（指数関数）で推計

過去推計

|  |
| --- |
| **2000年の半減** |
| （2.6） |
| （0.2） |
| （4.4） |
| （8.2） |
| （15.4） |

■大阪府事業系食品ロス量

（万t/年）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **業種** | **2000年度** | **・・・** | **2017年度** | **2018年度** | **2019年度** | **・・・** | **2025年度** | **・・・** | **2030年** |
| 食品製造業 | （5.2） | ・・・ | 2.9 | 2.9 | 2.8 | ・・・ | （2.4） | ・・・ | （2.0） |
| 食品卸売業 | （0.3） | 0.3 | 0.3 | 0.3 | （0.4） | （0.5） |
| 食品小売業 | （8.8） | 8.0 | 8.1 | 8.2 | （8.2） | （8.3） |
| 外食産業 | （16.5） | 8.8 | 9.0 | 9.0 | （8.7） | （8.5） |
| 合計 | （30.8） | 20.0 | 20.4 | 20.3 | （19.7） | （19.4） |

※数値について、最新データ等を考慮し、今後精査する予定。

**【参考】　国の推計方法について**

**【現状値】**

食品廃棄物等の発生量が100t/年を基準に以下のとおり算出方法が異なる。以下、①②の食品廃棄物等の発生量を

合算し、食品ロス率※１をかけている。

（※１　平成29年度「食品関連事業者における食品廃棄物等の可食部・不可食部の量の把握等調査」等）

①　100t/年以上

食品リサイクル法で報告義務があり、2008年以降から集計

②　100t/年未満

➀以外の事業者から抽出した統計調査により、業種ごとで１事業所あたりの発生量を算出し全国の事業所数で拡大推計

**【2000年推計】**

　　上記➀②の合算による2008～2015年度のデータから、４業種とも近似式（指数関数）で2000年の食品廃棄物量を算出し、食品ロス率※１をかけることで算出

※推計時に使用

目標数値（暫定値）

※塗りつぶしのない部分は、2000年度の推計時に算出したもの

（万t/年）

【参考】全国の定期報告データ（食品廃棄物等）の推移

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **業種** | **2012年度** | **2013年度** | **2014年度** | **2015年度** | **2016年度** | **2017年度** |
| 食品製造業 | 1,301 | 1,311 | 1,324 | 1,364 | 1,335 | 1,346 |
| 食品卸売業 | 10 | 9 | 12 | 13 | 11 | 11 |
| 食品小売業 | 88 | 91 | 93 | 94 | 94 | 91 |
| 外食産業 | 51 | 53 | 55 | 57 | 57 | 57 |
| 合計 | 1,449 | 1,464 | 1,484 | 1,527 | 1,497 | 1,505 |

※公表データでは、全国は2012年度以降のみ。都道府県別は2015年度以降のみ。